



世界最大の博士・修士論文データベース ProQuest
Dissertations & Theses Global に、
JUSTICE会員館むけに、特別な契約モデルが登場しました

Submit & Subscribe Model のご案内

貴学の博士・修士論文を掲載 & お得な価格で契約

Submit & Subscribe Modelとは

右記のデータベース、ProQuest Dissertations & Theses Global (以下PQDTG)をJUSTICE提案価格からさらに割引した**特別料金**で提供する契約モデルです。**貴学の博士・修士論文をPQDTGに掲載**して頂くことが条件です。
PQDTGを契約している世界3,000以上の機関に向けて貴学の研究成果を発信でき、グローバル化をサポートします。

論文提供について

- ◆ 対象: 博士論文・修士論文
- ◆ 貴学のリポジトリからデータハーベストします。データ提出の作業をする必要はありません。
- ◆ データ掲載の追加料金: なし
- ◆ 提供が必要な範囲: Submit & Subscribe Model参加年の論文
- ◆ 論文提供にあたり、著者の許諾を得てください。
- ◆ 日本語の論文も掲載できます。

詳しくは裏面のQ&Aへ

ProQuest Dissertations & Theses Global (PQDTG) とは

世界の博士・修士論文を収録するデータベースです。約100ヶ国、3,100以上の大学で受理された約260万件の論文を収録しており、さらに毎年20万件以上の論文を追加しています。
先行研究の把握、最新の研究動向の調査のための基礎資料として、あらゆる学問分野の研究・指導に役立ちます。

概要

- ◆ 内容: 世界の博士・修士論文を収録
- ◆ 収録件数: 約260万件 (別途、約240万件の書誌情報も収録)
- ◆ 更新頻度: 週1回更新
- ◆ 収録年代: 1637年～。新しい論文も多数。
- ◆ ご契約: 年間購読方式

詳しくは[資料\(EP-1248\)](#)をご請求ください。

ProQuest Dissertations & Theses Globalは世界中で
3,000の研究機関が契約、年間の検索2億回・ダウンロード50万回！
世界中で参照されているこのリソースに貴学の研究成果を掲載し

貴学の国際発信をサポートします

Submit & SubscribeモデルのQ&A

提供する論文は？

貴学で受理した博士・修士論文です。卒業(学士)論文は対象外です。

提供する範囲は？

Submit and SubscribeモデルでPQDTGを契約した年の博士・修士論文をご提供ください。

(例)2021年度よりSubmit and Subscribeモデルで契約をした場合、2021年度の博士・修士論文からPQDTGに掲載するご準備をお願いします。

できるだけ多くの博士・修士論文の掲載をお願いいたします。ただし、全点でなくても結構です。その年の論文全体の70%~80%以上の掲載を目安にご準備ください。※過去の博士・修士論文は、当面はSubmit and Subscribeモデルの条件には含まれません。

大学でどんな作業が必要ですか？

PQDTG掲載の許諾を著者から得てください。

データ提出の作業は必要はありません。貴学のリポジトリからプロクエスト社がデータハーベストします。データハーベストにあたり、契約書の締結が必要です。

データハーベストが出来ない場合は、別の方法を個別にご相談致します。

著者から許諾を得られない場合は？

当該の論文をお知らせください。掲載作業の際に除外します。また、一度掲載されたものでも、あとから取り下げることが可能です。

論文の掲載範囲は？

論文の本文・書誌・抄録などがPQDTGに掲載されます。

日本語の論文は掲載できますか？

掲載できます。

題名・書誌・抄録には英訳が必要ですが、英訳が無い場合もProQuest日本支社にて英訳して掲載します。

※機械翻訳のため、正確な訳にならない場合があります。あらかじめご了承ください。

論文掲載のための費用は必要ですか？

不要です。

Submit and Subscribeモデルの参加資格は？

博士・修士学位の授与資格をもつ機関で、JUSTICEに加盟している機関が対象です。

掲載した論文はどこへ向けて公開されますか？

PQDTGを契約している世界3,000以上の機関に提供されます。

カナダ、中国、韓国、イタリア、スウェーデン等の複数の国では、研究上の重要性を鑑みて政府機関がProQuest社とコンソーシアム契約を結んで国内の大学にPQDTGを提供しています。また、大英図書館、フランス国立図書館、ニューヨーク公共図書館、欧州特許庁、マックス・プランク学術振興協会などの多数の図書館や権威あるシンクタンクもPQDTGを契約しています。

PQDTGを通じ、これらの機関にむけて貴学の研究成果を発信できます。

掲載した論文がどのくらい利用されたか知りたい

専用のダッシュボードをご用意します。

このモデルでのPQDTGの年間購読料はいくら？

個別にお見積り申し上げます。お問い合わせください。

※2020年10月、提案内容を一部変更しました。

ProQuest社と博士・修士論文
なぜSubmit & Subscribe Modelか？

米ProQuest社(旧UMI)は1939年から博士・修士論文の収集と提供を始め、1998年に米国議会図書館よりアメリカの博士・修士論文の唯一の公式リポジトリ機関として正式認定されて現在に至っています。ProQuest社は世界中の大学・研究機関にPQDTGへの博士・修士論文の提供を募っており、世界大学ランキングトップ200のうち85%、トップ100では実に92%もの大学がPQDTGに自学の博士・修士論文を掲載しています。また、近年は中国、韓国、インドなど非欧米諸国からの論文掲載も増加しています。しかしながら、日本の研究機関の参加は未だ限定されています。ぜひ、Submit & Subscribe Modelを通じ、貴学の博士・修士論文をご提供ください。

(※PQDTGを契約していなくても、お客様ご自身でPQDTGに論文を提出することができます。[ProQuest社HP](#)をご参照ください)